

## 立ち上る祈り

ヨハネの黙示録八章1-13節

香の煙は、聖なる者たちの祈りと共に天使の手から神の前に立ち上った。(4)

第七の封印が解かれると、七人の天使が七つのラツパを持って登場します。ラツパが吹き鳴らされることに、終末に起こる光景が目の前に展開します。8章では、第一から第四までのラツパが吹かれ、自然界の異変を告げます。世の人々は、この一つ一つの幻が実際には何を指しているのかに関心を寄せ、実際に起こった出来事をこれらの幻に当てはめて説明しようと試みます。けれども、黙示録を読むときに注意すべきことは、これを易者の教科書のように読んでほならないということ。そうではなく、神の審きの足音が近づいていることを確かに聞きながら、それを悲しみ、聖徒たちと共に神に祈りをささげることです。世の終わりを恐れて浮き足立つのではなく、祈りが天の祭壇に届けられると信じて、とりなしの祈りを続けます。今日も、祈りの香を立ち上らせようではありませんか。